

第3学年 道徳学習指導略案

1組 計38人(男子23人, 女子15人)

指導者 中野嘉宣

- 1 主 題 名 なぜ、自信がもてないの(A 善悪の判断, 自律, 自由と責任)
教材名「言い出せなくて」(学研教育みらい3年)

2 主題について

(1) 主題の位置とねらい

善悪の判断とは、人として行ってよいこと、社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり、判断したりすることである。自律とは、相手に左右されることなく、自ら正しいと信じる場所に従って、誠実かつ謙虚に行動することである。

そこで、本主題では、自信をもって行動しようと思いつつも、心の弱さから実践することが難しいといった葛藤場面について深く考えることで、正しいと判断したことは、自信をもってやり通そうとする態度を育てる。

(2) 全体計画(別業)における本主題の位置付け

【全体計画(別業)】

学校行事「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」(11月): 一日一つ友達に対して親切な行いをするように呼び掛け、帰りの会等で紹介し合う。

国語「食べ物のひみつを教えます」(11月): 食品の例を挙げて、説明する文章を書く。

体育「鉄棒運動」(11月): 逆上がりのコツを見付け、楽しみ方を工夫する。

【本 時】

「なぜ、自信がもてないの」[A 善悪の判断, 自律, 自由と責任]
『言い出せなくて』 ※ 勇気をもつ(勇気)

【家庭や地域社会との連携】

道徳ファイル, 学級通信, 道徳の時間の授業参観, 学級PTA, あいご会活動

3 子供の実態

本学級の子供たちは、正しいことや正しくないことについての判断力は高まってきているが、正しいと知りつつも、「少くなら大丈夫だから」、「他の友達もやっているから」という理由で、正しいと判断したことが行えないときがある。そこで、正しいことについて、人に左右されることなく、自律的に判断し、自ら信じることに従って、誠実に行動する態度を育てる必要がある。

4 教材について

本教材は、仲のよい友達に付けられたあだ名が嫌で悩み続けたかずやが、母の言葉をきっかけに勇気を出して友達に「あだ名で呼ぶのは止めて。」と伝える話である。日常生活の何気ない会話が原因で不快な思いをしたりさせたりすることは、子供たちにとって身近な内容であり、共感しやすい教材であると言える。今回、友達に伝えるか、伝えないかで葛藤するかずやの心情に焦点化し、正しいと判断したことは自信をもって行うことの意義や心構えに気付くことができるように、本教材を活用する。

5 指導に当たって

(1) 対話を重視した「学び合い」【研究内容1】

ア 学年や学習内容に応じた対話を重視した「学び合い」の設定

あだ名で呼ばれて嫌な思いをしたとき、どの方法で解決したいかをグループや全体で議論する「磨き合い」の場と、友達に「止めて。」と言えなかったかずやはどんな気持ち(心の弱さ)だったかを伝え合う「認め合い」の場を設定することで、「善悪の判断, 自律, 自由と責任」に関する見方・考え方(意義や心構え)を広げたり深めたりすることができるようにする。

イ 子供同士で考えを広げたり深めたりする手立て

『「おかず」と呼ばれたとき、かずやにできることはどんなことだろうか。』と多様な考えを見いだす発問をすることで、問題場면을解決するための多様な方法を検討し、そのよさや問題点等について質疑・応答しながら、よりよい解決方法を見いだすことができるようにする。

(2) 学びの自覚を促し、次につなぐ学習指導の工夫【研究内容2】

ア 学びの自覚を促す手立て

「見つめる」過程では、『「おかず」と言うのを止めて。』と友達に伝えられなかったかずやの心の弱さに共感させることで、正しいと判断したことをやり通すことの難しさに気付くことができるようにする。その後、正しいことを行ったときの充実した気持ちを想起させることで、正しいことを行う意義を実感できるようにする。

イ 次につなぐ手立て

「高める」過程では、電子黒板を活用し、「私たちの道徳(勇気を出せるわたしになろう)」を視聴することで、自分の生活と結び付け、実践意欲を高めることができるようにする。授業後、朝の会等で道徳ファイルを振り返る時間を設けることで、道徳の時間で深めた考えを、自分の生活の中で生かしているか見つめることができるようにする。

6 本 時

(1) ねらい

正しいことを行えないときの心の弱さと、正しいことを行うよさや大切さに気付き、正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする態度を育てる。

(2) 展 開 □ 教師の言葉掛け □ 子供の反応 ◆ 重点評価項目 ☆ICT活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導
気 付 く (9)	<p>1 いじめ問題に関するこれまでの学習を振り返った後、教材「言い出せなくて」を視聴し、教材の中で問題だと思う場面について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自分の名前をあだ名で呼ばれることをどう思いますか。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">仲のよい友達になった感じがしてうれしい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">自分にとって嫌なあだ名で呼ばれると悲しい。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">この話では、何が問題だと思いますか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ かずやが嫌がるあだ名「おかず」で呼び続けたこと。 ・ 『「おかず」と呼ぶのを止めて。』とかずやがなかなか友達に言えなかったこと。 <p>2 本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">なぜ、自分の思いを自信をもって伝えられないのかな。正しいと思うことを行うには？</div> <p>3 主教材を中心に、「善悪の判断、自律、自由と責任」に関わる生き方について話し合う。</p> <p>(1) 「おかず」と呼ばれて嫌だったとき、かずやにどんなことができるのか話し合う。</p> <p style="text-align: center;">【「学び合い」(磨き合い)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『「おかず」と呼ばないで。』と、さとしに伝える。 ・ 嫌なあだ名で呼ばれることを親や先生に相談する。 ・ あだ名が嫌だとけんじからさとしに言ってもらう。 ・ その他(さとしの嫌がるあだ名で呼ぶ。など) 	<p>○ 道徳コーナーに掲示してある前時までの板書の写真やワークシート等を振り返ることで、これまでの学習と本時の学習との関連性を意識させることができるようにする。</p> <p>☆ 「あだ名」に関する自分の価値観を明確にした後、電子黒板で教材を視聴することで、道徳的な問題場面を自己との関わりで捉えることができるようにする。</p> <p>○ 「なぜ『「おかず」と呼ぶのを止めて。』と言えないのですか。」と発問することで、「善悪の判断、自律、自由と責任」に関する問題意識を高めることができるようにする。</p> <p>○ 問題場面を解決するための多様な方法を見出し、よりよい解決方法は何か検討する「磨き合い」の場(グループ)を設定することで、自分の生活経験と結び付けながら話し合うことができるようにする。その際、解決方法のよさや問題点等に着目して話し合わせるようにする。</p> <p>○ 「どの方法で解決したいですか。」と発問することで、自分の心情等や周りとの関係性などを根拠に、解決方法を多面的・多角的に吟味することができるようにする。</p> <p>○ 『「おかず」と呼ぶのは止めて。』と言えなかったかずやの心の弱さに共感させることで、人間理解を深めることができるようにする。</p> <p>○ 「あだ名で呼ばれることをかずやが嫌がっているのを、さとしやけんじは知っていると思いますか。」と発問することで、「少しくらいなら大丈夫。」等、相手のことを考えていない二人の心情や状況等に気付くことができるようにする。</p> <p>○ 実態調査を基に、なぜ正しいことが行えたり、行えなかったりするののかについて自分の体験を想起することで、自己との関わりの中で考えることができるようにする。</p> <p>○ 「善悪の判断、自律、自由と責任」に関する新たな見方・考え方を基に、大切な考えや生かしたい場面を記入することで、本時の学習を振り返り、実践意欲を高めることができるようにする。</p>
見 つ め る (26)	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">直接「止めて。」と伝えることができると自分もスッキリすると思う。</div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">親や先生に相談することも大事だけど、少し時間が掛かりそうだな。</div> </div> <p>(2) なぜ、『「おかず」と呼ぶのは止めて。』と友達に言えなかったのか、かずやの気持ちについて話し合う。</p> <p style="text-align: center;">【「学び合い」(認め合い)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【かずや】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲のよい友達から嫌われたくない。怖い。 ・ 悪気があって「おかず」と言っていない。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【さとし・けんじ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悪い気持ちではないから大丈夫だろう。 ・ 楽しいからいいや。 ・ かずやは嫌がっていない。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;">「友達だったら、分かってくれる」(B 友情、信頼)</div> <p>(3) 『「おかず」と呼ぶのは止めて。』と伝えたときのかずやの気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勇気を出してよかった。 ・ ほっとした。 ・ もっと早く伝えておけばよかった。 	<p>○ 「あだ名で呼ばれることをかずやが嫌がっているのを、さとしやけんじは知っていると思いますか。」と発問することで、「少しくらいなら大丈夫。」等、相手のことを考えていない二人の心情や状況等に気付くことができるようにする。</p> <p>○ 実態調査を基に、なぜ正しいことが行えたり、行えなかったりするののかについて自分の体験を想起することで、自己との関わりの中で考えることができるようにする。</p> <p>○ 「善悪の判断、自律、自由と責任」に関する新たな見方・考え方を基に、大切な考えや生かしたい場面を記入することで、本時の学習を振り返り、実践意欲を高めることができるようにする。</p>
深 め る (7)	<p>4 実態調査を基に、なぜ、正しいと判断したことが行えたり、行えなかったりするののか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しいことが行えると、すっきりして気持ちがいいな。 ・ 友達とふざけているときに正しいことができないな。 <p>5 本時を振り返り、なぜ、正しいと判断したことを行うことは難しいのか、どんな考えをもつことが大切か、自分の考えをまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">相手がどう思うだろうと迷うこともあるが、弱い心に負けず、自分が正しいと思うことを行いたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">自分が正しいと判断したことを行ったら、どんなよいことがあるか考え、勇気を出したい。</div> </div> <p>6 教材「私たちの道徳」を視聴し、正しいと判断したことをやり通すことの大切さについて考える。</p>	<p>○ 「善悪の判断、自律、自由と責任」に関する新たな見方・考え方を基に、大切な考えや生かしたい場面を記入することで、本時の学習を振り返り、実践意欲を高めることができるようにする。</p> <p>◆ 正しいと判断したことをやり通すための見方・考え方を広げたり深めたりしているか。</p> <p style="text-align: right;">【発言、ワークシートの記述】</p>
高 め る (3)		

第3学年「なぜ、自信がもてないの（A 善悪の判断、自律、自由と責任）」における「学び合い」想定シート

「学び合い」の目的

正しいことを実行できない心の弱さや、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする意義や心構えについて、自分の考えを広げたり深めたりするため。

「学び合い」の方法

形態	グループ→全体	思考を可視化する手立て	ホワイトボード、タブレットPC
----	---------	-------------	-----------------

「学び合い」で期待される子供の姿

強固	自分の考えを伝え、多様な友達の考えに触れることで、「善悪の判断、自律、自由と責任」に関する自分の考えのよさに気づき、自分の考えに自信をもつことができる。
付加	自分の考えを伝え、多様な友達の考えに触れることで、理由や根拠、具体的な場面などに基づき、自分が気付かなかった「善悪の判断、自律、自由と責任」に関する新たな考えに気付いたり、友達の考えのよさを自分の考えに取り入れたりすることができる。
修正	自分の考えを伝え、多様な友達の考えに触れることで、「善悪の判断、自律、自由と責任」に関する新たな考えに気付いたり、友達の考えのよさを自分の考えに取り入れたりしながら、今後は正しいと判断したことは、自信をもって行っていきたいと考えることができる。

「学び合い」の手順

磨き合い	① 友達から「おかず」と呼ばれて嫌な思いをしたとき、かずやにできる解決の方法は何かないか、自分の考えをもつ。【ワークシートに記入】 ② グループで自分の考えやその根拠を伝え合い、どの方法で解決したいか吟味する。 ③ 全体でグループの考えとその根拠を伝え合った後、質問や感想を交流する。
認め合い	① 「『おかず』と呼ぶのは止めて。」と友達に言えなかつたかずやの心情（心の弱さ）について自分の考えをもつ。 ② ペアで自分の考えやその根拠を伝え合う。 ③ 全体で互いに自分の考えやその根拠を伝え合う。

「学び合い」において育てたい見方・考え方

- ① 友達から「おかず」と呼ばれて嫌な思いをしたとき、「かずやにできることは何があるのか」、「どの方法で解決したいか」、自分の立場を明確にしながら、その根拠を議論し合う。【磨き合い】

〈子供の姿・教師の重点発問〉

友達から嫌なあだ名で呼ばれたとき、自分なら、どの方法で解決したいですか。【多様な考えを見いだす発問】

私なら、直接「止めて。」とさとしに伝えます。だって、自分の気持ちを伝えないと相手は分からないと思うからです。

ぼくなら、家族や先生に相談すると思います。だって、一人で悩まず、相談すると気持ちがすっきりすると思うからです。

いつ、どこで、誰に対してもそのように行動しますか。
【主題に迫る発問】

直接言っても分からないときは、親に相談するかな。

相談することも大事。でもはっきり言うことも大切だ。

自己との関わり

- ・ 「もし、自分だったら」と、かずやに自我関与しながら、問題場面における解決方法やその根拠について考えている。

多面的・多角的な捉え

- ・ 「『止めて』と言う」、「親や先生に相談する」など、どの解決方法がよいか自分の立場を明確にししながら、多様な解決方法や、そのよさや問題点等に気付いている。

- ② 「『おかず』と呼ぶのは止めて。」と友達に言えなかつたかずやの心情について、互いの考えを理解し合ったり、確かめ合ったりする。【認め合い】

〈子供の姿・教師の重点発問〉

かずやは、「友達に嫌われたくない」思いが強かったと思います。

「友達は悪気があって言っていない」から迷っていたと思います。

みんなにもかずやと同じようなことはなかったですか。

ぼくも、友達からちょっかいを出されて嫌だったけど、遊んでいたときだったから「止めて。」と言えなかつたときがあるな。

自己との関わり

- ・ 自分の体験を想起しながら、かずやの心情等について考えている。

多面的・多角的な捉え

- ・ 正しいと思うことを実行できない心の弱さについて、考えを広げたり深めたりしている。

